

常習飲酒者の飲酒運転行動抑止に関する
調査研究研修会 2008/10/13 (体育の日)、19 (日)

基礎的知識の説明

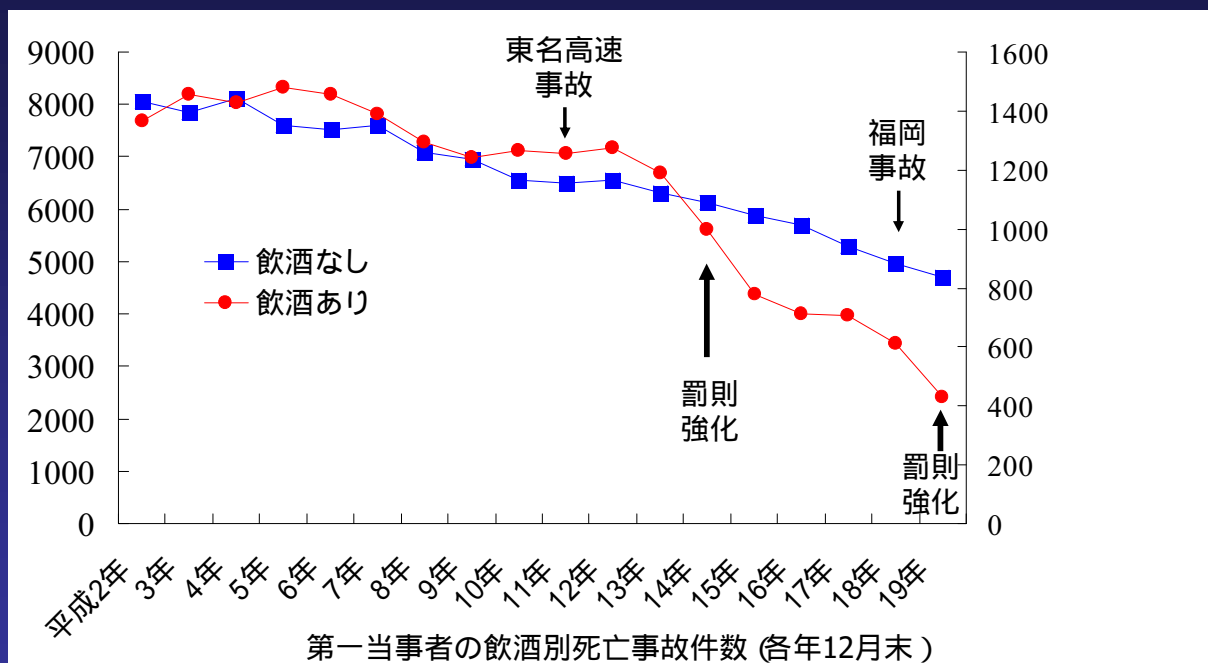
独立行政法人国立病院機構
久里浜アルコール症センター
松下幸生

内 容

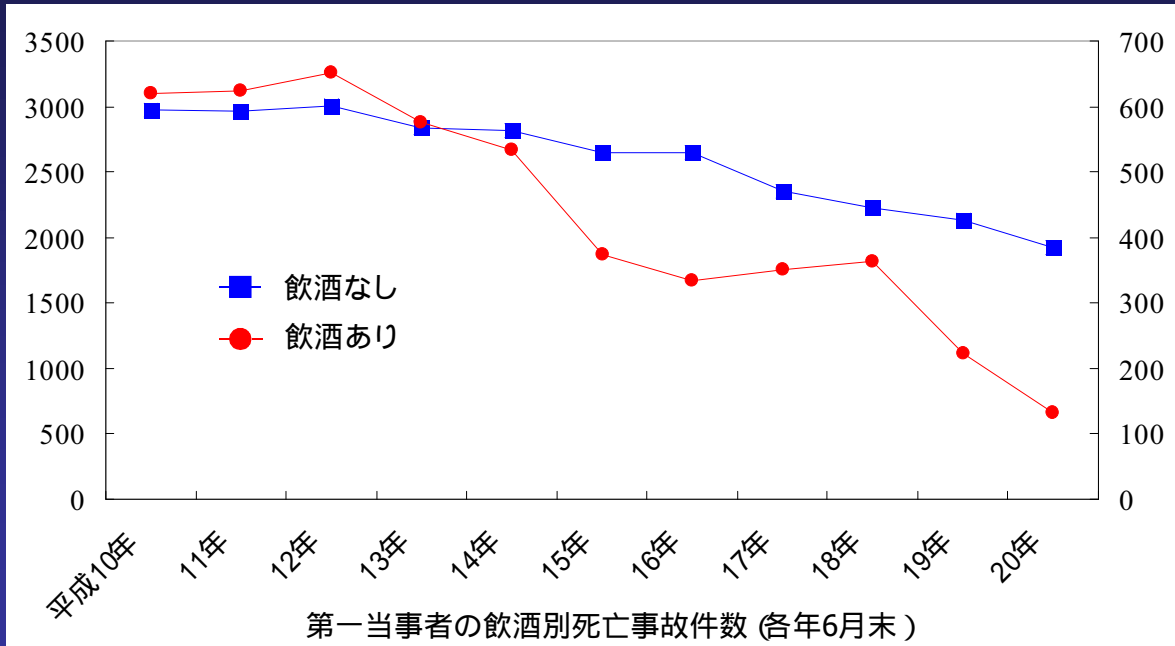
- ✓ 道路交通法の基礎知識
- ✓ 飲酒量の求め方
- ✓ アルコールの血中濃度と分解
- ✓ アルコール使用障害のスクリーニングテスト (AUDIT) の説明

道路交通法の基礎知識

飲酒運転による死亡事故件数

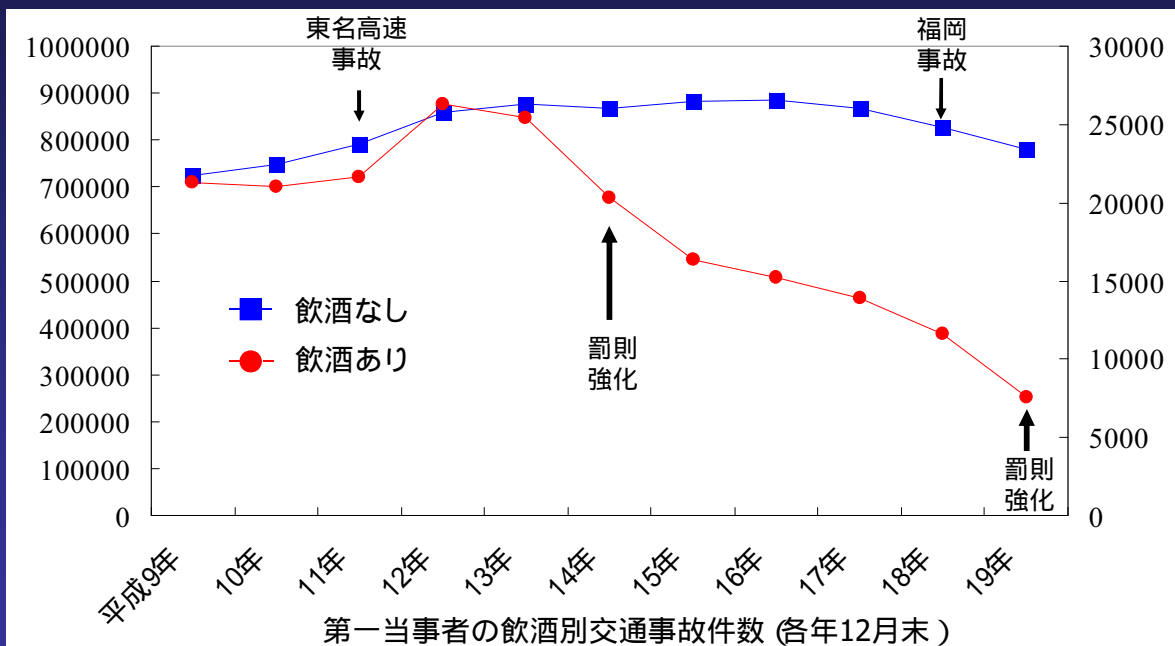


飲酒運転による死亡事故件数 (平成20年上半期)



警察庁ホームページより

飲酒運転による交通事故件数



警察庁ホームページより

道路交通法 酒気帯び運転等の禁止

第六十五条 第一項

何人も、酒気帯びて車両等を運転してはならない。

第六十五条 第二項

何人も酒気を帯びている者で前項の規定に違反して車両等を運転することとなるおそれがある者に対し、車両等を提供してはならない。

第六十五条 第三項

何人も、前項の規定に違反して車両等を運転することとなるおそれがある者に対し、酒類を提供し、又は飲酒をすすめてはならない。

第六十五条 第四項

何人も、車両の運転者が酒気を帯びていることを知りながら、当該運転者に対し、当該車両を運転して自己を運送することを要求し、又は依頼して、当該運転者が第一項の規定に違反して運転する車両に同乗してはならない。

元の条文を一部改訂

飲酒量の求め方

ドリンクとは

純アルコールに換算して
10グラムを1ドリンクと定義

アルコール量の換算方法

お酒の種類	アルコール度数	量	ドリンク数
ビール	5 %	350 ml	1.4
		500 ml	2
		633 ml	2.5
日本酒	15 %	1合 (180 ml)	2
焼酎 25度	25 %	1合 (180 ml)	3.6
ワイン	12 %	1杯 (120 ml)	1.2
ウイスキー ブランデー	43 %	ダブル 60ml	2

純アルコール換算法

アルコール飲料の度数 (%)

100

× 飲酒量 (ml) × 0.8

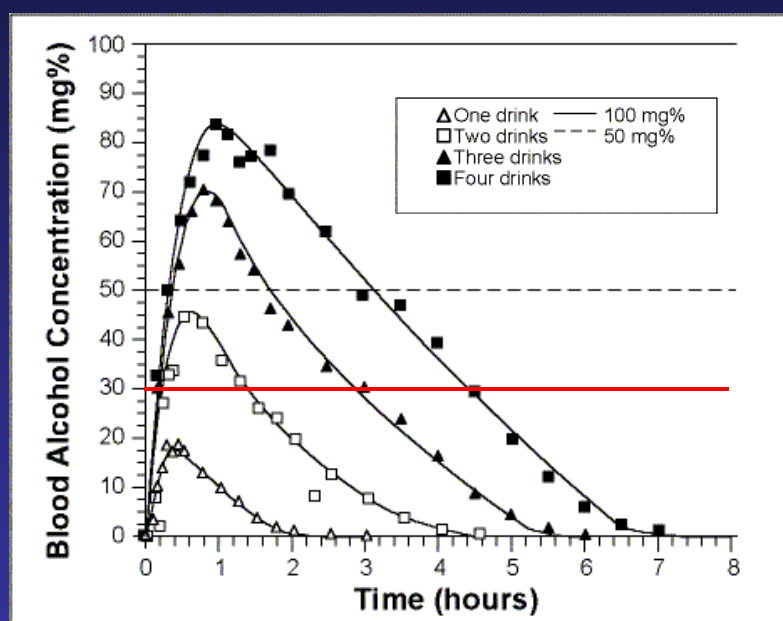
例 :5%のビール500mlに含まれる純アルコール量 (g)

$$0.05 \times 500 \times 0.8 = 20$$

例 :25%の焼酎100mlに含まれる純アルコール量 (g)

$$0.25 \times 100 \times 0.8 = 20$$

アルコールの血中濃度と代謝



NIAAA Alcohol Alert No. 35; PH 371 January 1997 より引用。

8人の成人男性に空腹時に飲酒させたときの血中濃度の推移を示す。

Drinkは、アメリカで用いられる飲酒量の単位で、1 drinkは、ビール350mlに含まれるアルコール量を示す (純アルコールで約14グラム)。

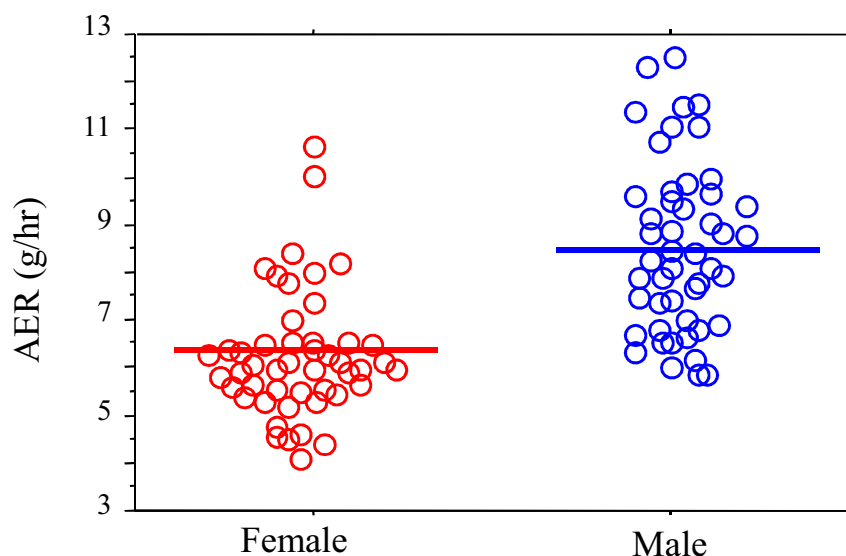
酒気帯び基準 0.15mg/l (呼気) 0.3mg/ml (血液) = 30 mg% (mg/dl) (血液)

アルコールの分解

- アルコールの分解は遅く、平均的には1時間に男性で0.8ドリンク (8g)、女性で0.6ドリンク (6g) 程度である。これは、男性でビールコップ (200mL) 1杯、女性でコップ3分の4にあたる。
- 1.5杯 (300mL) 程度しか分解できない。分解の速度は個人差が非常に大きく、一般に男性の方が女性より、体の大きい人の方が小さい人より、分解が速い。しかし、最も速い人でも、1時間にビールコップ1.5杯 (300ml) 程度しか分解できない。
- 多量の汗や尿でも体外に出るアルコールは、わずかである。体内のアルコールを無くすには、分解を待たねばならない。

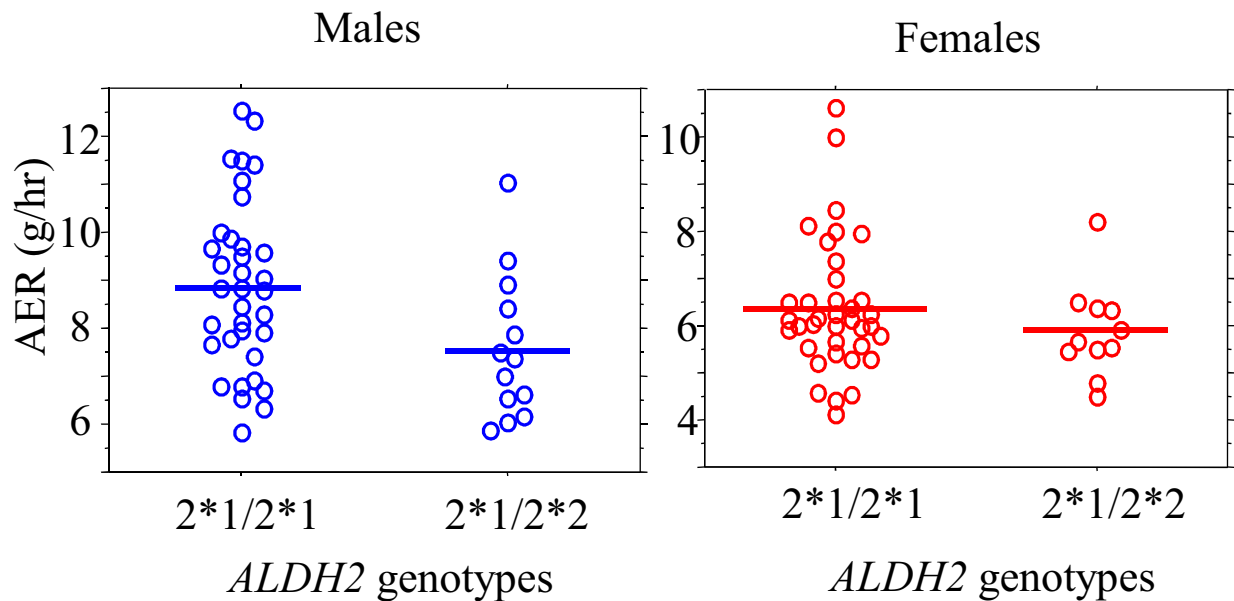
アルコール消失速度 (Alcohol Elimination Rate; AER) における性差

横線は平均値



$$t = 7.09, df = 94, p < 0.001$$

AER differences between *ALDH2* genotypes, by gender



$$t = 2.35, df = 46, p = 0.0234$$

AUDIT (Alcohol Use Disorders Identification Test)

1. あなたはアルコール含有飲料をどのくらいの頻度で飲みますか。
0. 飲まない、1. 1ヶ月に1回以下、2. 1ヶ月に2~4回、
3. 1週間に2~3回、4. 1週間に4回以上
2. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか。
0. 2ドリンク以下、1. 3~4ドリンク、2. 5~6ドリンク、3. 7~9ドリンク、
4. 10ドリンク以上 (1ドリンクは純アルコール10グラムに相当)
3. 一度に6ドリンク以上 (純エタノール60グラム) 飲酒することがどのくらいの頻度
でありますか。
0. ない、1. 1ヶ月に1回未満、2. 1ヶ月に1回、3. 1週間に1回
4. 毎日あるいはほとんど毎日

AUDIT -2

-
4. 過去 1年間に飲み始めると止められなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか。
0. ない、 1. 1ヶ月に1回未満、 2. 1ヶ月に1回、 3. 1週間に1回
4. 毎日あるいはほとんど毎日
-
5. 過去 1年間に、普通だと行なえることを飲酒していたためにできなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか。
0. ない、 1. 1ヶ月に1回未満、 2. 1ヶ月に1回、 3. 1週間に1回
4. 毎日あるいはほとんど毎日
-
6. 過去 1年間に深酒の後、体調を整えるために、朝迎え酒をしなければならなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか。
0. ない、 1. 1ヶ月に1回未満、 2. 1ヶ月に1回、 3. 1週間に1回
4. 毎日あるいはほとんど毎日
-
7. 過去 1年間に飲酒後罪悪感や自責の念にかられたことが、どのくらいの頻度でありましたか。
0. ない、 1. 1ヶ月に1回未満、 2. 1ヶ月に1回、 3. 1週間に1回
4. 毎日あるいはほとんど毎日
-

AUDIT-3

-
8. 過去 1年間に飲酒のため前夜の出来事を思い出せなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか。
0. ない、 1. 1ヶ月に1回未満、 2. 1ヶ月に1回、 3. 1週間に1回
4. 毎日あるいはほとんど毎日
-
9. 過去 1年間に飲酒のために、あなた自身か他の誰かが怪我をしたことがありますか。
0. ない、 2. あるが、過去1年間にはない、 4. 過去1年間にあり
-
10. 肉親や親戚、友人、医師、あるいは他の健康管理にたずさわる人が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことがありますか。
0. ない、 2. あるが、過去1年間にはない、 4. 過去1年間にあり
-

AUDITの判定法

該当する選択肢の数字 (得点) を合計する。

ここでは、その点数が10点以上を多量飲酒と判定する。

過去の調査では11～12点以上とした場合、敏感度 (問題飲酒をテストで拾い上げる割合)、特異度 (テスト陽性の内、本当に疾患を持っている人の割合)とも80%以上とされている。

問題飲酒の評価 AUDITを用いた重症度判定

